

教科等研究会（小学校道徳部会） 令和5年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

自己を見つめ、自己の生き方について考えを深める道徳科授業の創造

2 研究経過

第1回			第2回		
期日 6月12日	人数 18名	場所 滝尾小学校	期日 10月23日	場所 龍野小学校	授業者 大野なつき教諭
第3回			第4回		
期日 12月8日	場所 益城中学校	授業者 白石慶太教諭	期日 2月6日	場所 飯野小学校	授業者 木原育実教諭

3 研究の概要

(1) 研究の内容

小学校新学習指導要領における道徳科の目標から、児童一人一人が道徳的価値を自覚し、自己の生き方についての考えを深め、道徳性を養っていきけるような道徳科の指導を工夫することが重要だと捉えた。また、児童が道徳的価値についての理解を深め、よりよく生きようとする気持ちを高めることが、「分かる」「楽しい」道徳の授業につながると考えた。

◎「分かる」道徳の授業とは・・・

『価値理解，人間理解，他者理解，自己理解を深める授業』

＝道徳的価値を理解し，自分の生き方についての考えを深める授業

※①ねらいとする道徳的価値が大切であることが分かる（価値理解）

②大切ではあるが道徳的価値に根ざした行為は容易ではないことが分かる（人間理解）

③道徳的価値にかかわる見方・考え方は人によって様々であることが分かる（他者理解）

◎「楽しい」道徳の授業とは・・・

『子どもが、「考えたい，聞きたい，話したい」と思える授業』

＝道徳的価値を，自分とのかかわりで考える授業

本研究では、「学習指導要領解説 特別の教科道徳編」に示された指導方法の工夫の中から，ねらいや児童の実態，資料や学習過程に応じて，最も適切な指導方法を選択して指導案に明記し，授業の中で工夫し生かすようにした。

◇道徳の時間に生かす7つの指導方法の工夫

- ① 資料提示：教師による読み聞かせ（紙芝居，ペープサート等），ビデオ映像等
- ② 発問：児童の意識の流れに沿った発問，考える必然性や切実感のある発問等
- ③ 話し合い：意図的指名，座席配置の工夫，ペアやグループ協議などの工夫等
- ④ 書く活動：吹き出しを付けたワークシートの工夫等
- ⑤ 表現活動：役割演技，動作化等
- ⑥ 板書：順接的な板書，構造的な板書，意見の違いを類型化した板書等
- ⑦ 説話：日常の話題や学級の出来事を生かした内容等

(2) 成果と課題

【成果】

- 今年度も，事前研での教材分析や授業展開の検討を積極的に行い，部会員で協力して学習構想案を練り上げることができた。
- 導入や発問，板書や学習活動の工夫等を通して，児童主体の授業づくりについて研究を深めることができた。
- 来年度，上益城で開催が予定されている「熊本県道徳教育研究大会」に向けて，中学校道徳部会と合同で研修を重ねてきた。児童生徒の発達段階に応じた道徳教育について，理解を深めることができた。

【課題】

- 導入や発問の工夫をするとともに，自己の生き方について考えを深めることができる振り返りを行うことで，児童主体の授業となるよう研究を継続していきたい。

4 実践事例

(1) 授業の概要

主題名 広く受け入れる心 (B-11 相互理解, 寛容)

教材名 「ブランコ乗りとピエロ」 出典「生きる力6」(日本文教出版)

指導者 教諭 大野 なつき

本授業では、以下のような指導の工夫(展開の工夫)を行った。

- ・導入では事前アンケートの結果を、終末では学校生活の具体的な場面を写真で提示し、意識付けを行うことで自分事として考えることができるようにする。
- ・中心発問で「気持ちが変化したのはなぜだろう」と問い、適宜問い返しを行うことで、多面的・多角的に考えることができるようにする。
- ・前半の「許さない気持ち」と後半の「許す気持ち」を対比して提示することで、なぜ気持ちが変化したのかに着目させる。
- ・本時で追究してきた「大切な心」について、児童の意見をもとに板書中央にまとめる。

(2) 学習構想案

第6学年1組 道徳科 学習構想案

日時 令和5年10月23日(月) 第5校時

場所 6年1組教室

1 主題についての構想

主題名	「広く受け入れる心」(内容項目B 相互理解, 寛容)	
ねらいと教材	(1) ねらい サムを憎む気持ちが消えたピエロの気持ちを考え、その理由を話し合う活動を通して、自分と異なる考えや意見を尊重し、大切にしていこうとする心情を育てる。 (2) 教材名「ブランコ乗りとピエロ」出典:「小学道徳 生きる力 6年(日本文教出版)」	
評価の視点	評価の視点1	評価の視点2
	サムを認めようとしたピエロの変化について友達と交流することで、違いを認め合う大切さについて多面的・多角的に考えようとしている。	互いにわかり合うために大切なことについて自分自身を振り返り、自己をこれまでの自分と重ねながら考えようとしている。
目指す児童の姿		
自分と異なる意見や立場を認め、互いに理解しようとする態度が大切であると感じている児童		
主題に迫る学習課題(本時)		本時で働かせる見方・考え方
ピエロの気持ちが変化したのはなぜだろう。		相手の意見や立場を多面的・多角的に捉え、自分事として考えながら、自己の生き方についての考えを深めていくこと。
各教科等相互の関連的・発展的な指導各教科等や体験活動等との関連的指導や日常生活		
<p>「学級活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学級会の際、友達の意見を聞き、互いの考えを尊重しながら意見交換を行い、議題に沿って話し合いを進める。 <p>「総合的な学習の時間」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○戦争について調べ、歴史の事実から相互理解や、命、平和の大切さを見つめ直す。 ○集団行動を円滑にするため、自分と相手の考えを折り合いをつけて話し合いを進める。 	<p>「ぼくだって」</p> <p>B(11)相互理解, 寛容 主題名 信頼し合える友達</p> <hr/> <p>「ブランコ乗りとピエロ」</p> <p>B(11)相互理解, 寛容 主題名 広く受け入れる心</p> <p>サムを憎む気持ちが消えたピエロの気持ちを考え、その理由を話し合う活動を通して、自分と異なる考えや意見を尊重し、大切にしていこうとする心情を育てる。</p> <hr/> <p>「ロレンゾの友達」</p> <p>B(10)友情, 信頼 主題名 ほんとうの友達</p>	<p>「1分間スピーチ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達の意見や考えを聞き、質問したり関心を伝え合ったりする。 <p>「児童会活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○下級生のことを考えながら最上級生としての意識を高め、活動する。 <p>「修学旅行」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○修学旅行で学んだことや友達のよさを振り返り、まとめたものを全体で共有する。

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所（ねらいや指導内容についての教師の捉え方）				
<p>本主題は、第5学年及び第6学年の内容項目B（11）相互理解、寛容の「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。」を基にしたものである。</p> <p>豊かな社会を築くためには、人の多様さを相互に認め合い理解しながら高め合う関係を築くことが不可欠である。さらに、このような関わりを通して自らを高めることができる。指導に当たって、6年生の段階では、相手のものの見方や考え方の違いをそれまで以上に意識するようになる。そのため、相手の意見を素直に聞き、なぜそのような考え方をするのかを、相手の立場に立って考える心情を育てることが求められる。</p>				
本主題における系統				
<p>小学校第5学年 内容項目 B(11)(相互理解, 寛容) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。 ・教材名「折れたタワー」 ・主題名「広い心」</p>	<p>小学校第6学年 内容項目 B(11)(相互理解, 寛容) 自分と異なる考えや意見を尊重し、大切にしていこうとする心情を育てる。 ・教材名「ブランコ乗りとピエロ」 ・主題名「広く受け入れる心」</p>	<p>中学校第1学年 内容項目 B(9)相互理解, 寛容 いろいろなものの見方や考え方があることに気付き、寛容の心をもって謙虚に他者から学ぶ態度を育てる。 ・教材名「自分だけ『余り』になっってしまう・・・」 ・主題名「お互いを認め合う」</p>		
児童の実態（児童の学習状況や実態と教師の願い）				
■主題に関する意識の状況		本主題に関わる児童の実態（アンケート25人調査）		
質問事項	とくに◎	まあまあ○	あまり△	ない×
①誰に対しても、広い心をもって接していますか。	4	2 1	0	0
②自分にはよいところがあると思いますか。	4	1 1	9	1
③周りの人から大切にされていると思いますか。	7	1 5	3	0
④悩みを相談できる人はいますか。 友達20人、先生6人、6年生以外の友達1人、家族10人、家族以外の大人2人				
■考察				
<p>ほとんどの児童が「広い心」をもって接することを意識していた。ただ、「まあまあ」と応えた児童が大半であるため、「広い心」の意味や捉え方が気になるところである。また、周りの人から大切にされている意識が高いが、自分にはよいところあまりないと応えた児童が8名いるため、よいところがあるなしに関わらず、相手を認め合うことの大切さについて全体で共有していきたいと考える。そのために、相手に対する心情が変化したピエロに着目させ、相手のよさもそうでない部分も受け入れることのよさに気付くことができるようにしたい。</p>				
教材の価値（使用する教材の特質や具体的な活用方法）				
<p>本教材は、サーカス団を率いるリーダーのピエロと、ブランコ乗りの花形スター、サムが中心となった話である。二人は、サーカスでの演技時間や互いの言動で初めは対立する。サムの自分勝手な態度に団員らも不満を持ち、ピエロもサムへの憎しみが増していた。しかし、ピエロはサムが本番の演技に向け努力を重ね、演技後に力を出し切って疲れ果てている姿を目撃し、サムへの見方を変えていく。ピエロが団員の前で、サムの努力を認め、リーダーとしての思いをサムへ伝えていく中で、身勝手だったサムも変わり、サーカス団の一員として力を合わせて演技をするようになった。考えが異なる相手を認め理解し合うこと、広い心で接していくことの大切さを考えることのできる教材である。</p> <p>授業では、ピエロのサムをにくむ気持ちが消えてしまったことに注目して考え、相手を多面的に見ることで、相手を認め、理解していくことができることにつなげていきたい。また、児童が、自分と異なる意見や立場を認め、互いに理解しようとすることの尊さや大切さを自分事として捉えられるようにしたい。</p>				

3 指導に当たっての留意点

【自分事として捉える導入の工夫】

- 導入部分でアンケート結果を提示し、相互理解や寛容を意識付けし、学習への方向付けを行う。
- 範読中に写真やキーワードとなる言葉や文を掲示し、教材の理解しやすいようにする。

【問題意識をもつ教材提示、発問の工夫/互いの考えをつなぐ対話活動の工夫】

- 教材文を聞く際に着目する人物を提示することで、本時で考えたいことを中心に迫ることができるようにする。
- 全体で出し合った考えを基にしてピエロの思いを考えることで、友達の考えと比べたり付け加えたりしながら、全員が自分の考えをもてるようにする。

【自己を見つめる、振り返りの工夫】



○振り返りの視点「①これまでの自分②今日学んだこと③これからの自分」を基にして振り返りをする
 ことで、一人一人が道徳的価値についての自覚を深められるようにする。

4 本時の学習

(1) ねらい

サムを憎む気持ちが消えたピエロの気持ちを考え、その理由を話し合う活動を通して、自分と異なる
 考えや意見を尊重し、大切にしていこうとする心情を育てる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	3分	1 本時の学習課題を知る。 ○自分と考えが合わないなと感じたことはありますか。 ◇ある 24人 ◇ない 1人	・事前アンケートの結果を提示し、意識付けをして、自分事として考えられるようにする。
		【めあて】自分の考えとちがう人に向き合うとき大切な心は？	
展開	35分	2 教材を読み、ピエロの気持ちを軸に考える。 ①この話で心に残った場面について、理由を添えて出し合う。 ◇サムに腹を立てるのもわかる。 ◇サムも頑張っていたんだから、団員はそこまで怒らなくていいんじゃないか。 ②ピエロの気持ちの変化を考える。 ○(演技をやめようとしないうサムを見上げていたときの)ピエロの気持ちは？ ◇自分勝手なことをして困る。 ◇みんなの気持ちを考えていない。 ○このとき、許す気持ちと許さない気持ち、どちらが大きいかな。 ○(二人が固く握手をかわしたときは)ピエロは許す気持ちと許さない気持ち、どちらが大きいかな。 ◎気持ちが変化したのは、なぜだろう？ 【分析的な発問】 ◇サムを信頼したから。〈相手のよさ〉 ◇リーダーとしてとして成長したいと思ったから。〈自分の役割〉 ◇サーカス団をみんなでもっとよくしていきたいと思ったから。〈集団としての思い〉 ○自分の考えと違う人と向き合うときに大切な心はなんだろう？ 【分析的な発問】 ◇相手を許す心。 ◇自分のことを振り返る心。 ◇相手の思いを知ろうとする心。 ◇自分の考えを相手に伝えようとする心。 ◇相手のがんばりを認める心。	・話の流れを短冊などで視覚的に分かるように提示し、ピエロの気持ちに着目させる。 ・児童の感想発表から、「許す」「許さない」というピエロの心情に着目するようにする。  ・「許す」「許さない」の心情の変化に着目することで、サムに対するピエロの考えがどう変わったかを考えるようにする。 ・多面的、多角的に考えられるように、児童の発言内容に応じて次のような問い返しを行い、児童の思考を広げさせたり深めさせたりしていく。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">【問い返しの例】 ・サムばかりが悪いのか。 ・どんな気持ちがサムと同じ？ ・許すってどういうこと。 ・自分だったら本当にできるか。 ・今の自分に一番必要な心は。</div> ・班で大切な心を記述させる際は必ず理由も伝えさせる。 
終末	7分	3 学校生活の写真から授業を振り返る。 4 自分自身の振り返りを書き、発表する。 ○振り返りの視点をもとに自分自身を振り返りましょう。	・具体的な場目を提示し、自分事として考えられるようにする。 ・振り返る視点(①これまで②今日学んだこと③これから)を提示し、自分を振り返って書かせる。

【評価の視点1】 サムを認めようとしたピエロの変化について友達と交流することで、違いを認め合う大切さについて多面的・多角的に考えようとしている。 (方法：発言・ノート)

【評価の視点2】 互いにわかり合うために大切なことについて自分自身を振り返り、自己をこれまでの自分と重ねながら考えようとしている。 (方法：発言・ノート)